

日赤おおいた



能登半島地震災害において、被災地へ向かう日赤大分県支部のスタッフ

Topics

- 令和6年能登半島地震災害における活動報告
- 海外たすけあい街頭募金
- シンガポールの高校生と県内の生徒が交流
- 日赤ゆかりの皇族お手植えの松の伐採について
- 献血にご協力をお願いします!



ホームページ



Instagram

防災グッズが当たるアンケート実施中!

令和6年能登半島地震災害における活動報告

令和6年1月1日に石川県能登地方にて発生した地震災害について、日本赤十字社では発災当日より様々な災害救護活動を行っております。

日赤大分県支部においても1月に※救護班2班を派遣し、2月以降も必要に応じて救護班を派遣する予定となっております。(1月31日現在)

※救護班… 医師や看護師、連絡調整員といったメンバーからなるチームのこと。主に避難所での救護所の設置や診療などを行います。

日本赤十字社全国の主な活動状況 [1月15日10時00分 現在]

職員・ボランティア派遣



救護班 (DMATきせ)
延べ**92班**を派遣



日赤災害医療
コーディネートチーム
延べ**28班**を派遣



支部支援要員
延べ**20人**を派遣



赤十字ボランティア
延べ**257人**を派遣

救援物資の配布



毛 布 **15,805枚**



安眠セット **4,996セット**



緊急セット **2,241セット**



その他
携帯型簡易トイレ**3,400個** 等



避難所で診療にあたる大分県のスタッフ



避難者に薬の説明をする薬剤師



日赤石川県支部での情報収集

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 災害義援金の受付について ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

日本赤十字社では、令和6年能登半島地震災害による義援金を受け付けております。

皆さま方からお寄せいただきました義援金は、被災地の方々の生活を支援するため、被災都道府県が設置する義援金配分委員会へ全額をお送りします。

皆様方からの温かいご支援のほど、お願いいたします。

協力方法 (1月31日現在)

1. ゆうちょ銀行・郵便局

受付期間: 2024年1月5日(金)から2024年12月27日(金)まで

口座記号番号 00150-7-325411

口座加入者名 日赤令和6年能登半島地震災害義援金

※ゆうちょ銀行の振込用紙の半券が、受領証の代わりとして、税制上の措置が受けられます。

※受領証をご希望の場合は、振替用紙の通信欄に「受領証希望」と明記のうえ、ご依頼欄に「お名前・ご住所・お電話番号」を記載してください。

2. その他

銀行振込や、日赤大分県支部、各市町村窓口での受付も行ってまいります。

詳しくはホームページをご覧ください。



困っている人の力になりたい! NHK海外たすけあい街頭募金を実施

毎年12月1日～25日は「NHK海外たすけあいキャンペーン」として、世界各地で紛争、災害、病気などにより苦しんでいる人々を支援する募金キャンペーンを行っています。

このキャンペーンが始まる12月1日に合わせて、大分県支部では大分駅前にて街頭募金を実施しました。

街頭募金には3つの幼稚園やこども園、また赤十字のボランティアも参加し、多くの方からご協力をいただきました。

街頭募金終了後、園児たちはNHK大分放送局へ移動し、「困っている人のために使ってください」「大切に使ってください」という言葉と共に園で集めた募金を大分放送局長へ手渡しました。



シンガポール赤十字社より高校生が来県 ～青少年赤十字国際交流事業～

令和5年11月18日(土)～22日(水)にかけて、日赤大分県支部にて青少年赤十字国際交流事業を5年振りに行いました。

この活動は※青少年赤十字メンバーが「国際理解・親善」を促進することを目的に行われる全国的な

1日目

取り組みで、大分県ではシンガポール赤十字社より2名の高校生が来県し、学生やボランティアなどとの交流を深めました。



※青少年赤十字 … 幼児から高校生まで、他人を思いやる赤十字の心を育む活動です。

- ・大分空港到着後、青年赤十字奉仕団員、支部職員と一緒に竹田市で開催された竹楽を視察

2日目



- ・車いすマラソンを視察後、県内の高校生メンバーと一緒にたこ焼きパーティー
- ・夜はホームステイ先でホストファミリーとの楽しい時間を過ごしました

3日目



- ・佐伯市立直川中学校を訪問し、互いの文化の紹介やレクリエーションを通して交流

4日目



- ・日赤大分県支部にて、赤十字のボランティアと日本ならではのお茶の体験や、日本の伝統的な遊びを体験

5日目



- ・県内の赤十字施設を見学
- ・別府市内の観光も行いました

日赤ゆかりの皇族お手植えの松の伐採について

大分市高砂町の国道197号沿い(ホテル日航大分オアシスタワー南側)に見える松の木は、大正11年に日本赤十字社の総裁であった閑院宮載仁(かんいんのみやことひと)親王殿下が、旧大分県支部庁舎を訪れた際にお手植えされたものと伝えられています。

支部庁舎は昭和49年に現在の大分市千代町に移転しましたが、この松は日赤ゆかりの松として、これまで100年以上に亘り、地域の方々や赤十字関係者を見守るシンボルとして愛されてきたところです。

しかしながら、令和5年11月に枯れの兆候が確認され、専門家である樹木医の診断を受けたところ、マツ材線虫病(俗称マツクイムシ)罹病による枯死と診断されました。

この病気に対する治療法はなく、歩行者・通行車両等への倒木被害とマツ材線虫病の被害拡大を防ぐためには、誠に残念ではありますが、伐採せざるを得ない状況となりましたので、お知らせいたします。

なお、伐採は、国道を管理する大分土木事務所が令和6年3月中旬頃に行う予定ですので、伐採前に日赤ゆかりの松の姿をご覧ください。

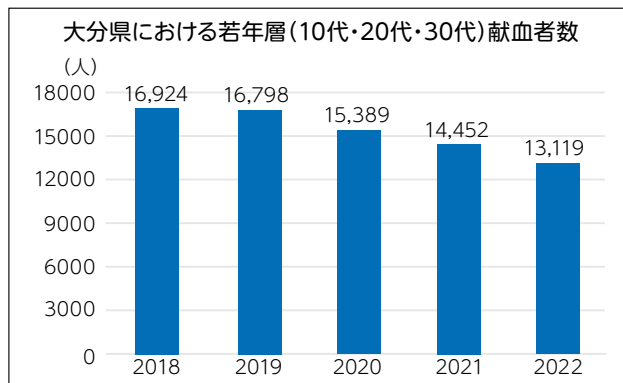


献血にご協力をお願いします！ ～若年層の献血者数減少について～

若年層（10代・20代・30代）の献血者数は減少の一途を辿っています。

県内では、若年層の献血者数が2018年度は16,924人、2022年度は13,119人とこの5年間で3,805人減少しています。このペースで減少すると、将来的に必要な血液製剤の確保が厳しくなることが予想されます。血液製剤が確保できなくなると、適切な医療を受けることができない事態を招く恐れがあります。

若い世代のみなさんご協力が必要です。



予約をしてからの献血がおすすめです！

大分県赤十字血液センターでは、予約特典キャンペーンを行っています。

ご予約は、ぜひラブラッドアプリをご活用ください。当日問診回答など便利なサービスをご利用いただけます！下の二次元コードからダウンロードができます。



←iOSをご利用の方



←Androidをご利用の方

会場では、ご予約いただいた方を優先的にご案内しています。毎月素敵な記念品を用意しているので、ぜひ周囲の方と一緒に予約をして、献血会場にお越しください！

キャンペーン情報や献血バススケジュールは、随時更新中です！

詳しくは、大分県赤十字血液センターのホームページをご覧ください。

右下の二次元コードからご確認くださいませ。

大分県 献血バス

検索



アンケートにご協力をお願いします

今後の「日赤おおいた」の紙面づくりの参考とするために、アンケートへのご協力をお願いします。右記の①～④をご記入のうえ、令和6年4月12日（金）必着で、郵便、FAX、またはインターネットの回答ページにてご回答ください。

ご協力いただいた方から抽選で、小さくてかわいいハートラちゃんぬいぐるみを10名の方にプレゼントします。

皆様のご意見をお待ちしています。



- ①お名前・郵便番号・ご住所・年齢
- ②本誌を読まれた場所（地区など）
- ③本誌へのご意見・ご感想
- ④今後掲載してほしい内容

● 回答先 ●

郵便 〒870-0033
大分市千代町2丁目3番31号
日本赤十字社大分県支部 総務課
「日赤おおいた」61号アンケート係
FAX (097)533-6795

上記での回答、またはスマートフォンにてQRコードを読み取り、専用ページで回答をお願いいたします。

※記念品当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。



 **日本赤十字社** 大分県支部
Japanese Red Cross Society

大分市千代町2丁目3番31号
TEL(097)534-2236・FAX(097)533-6795

日赤大分

検索

「日赤おおいた」のバックナンバーは、ホームページからご覧いただけます。

大分赤十字病院

〒870-0033 大分市千代町2丁目2-37
TEL(097)532-6181・FAX(097)533-1207
http://www.oitasekijyuji.jp/

大分県赤十字血液センター

〒870-0889 大分市大字荏隈717-5
TEL(097)547-1151・FAX(097)547-1141
http://www.bs.jrc.or.jp/bc9/oita/

献血ルーム・わたん

〒870-1198 大分市大字玉沢字橋本755番地の1
「トキハわさだタウン」3街区2階
TEL(097)574-6822・FAX(097)542-5777
予約専用 ☎0120-489-150